



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場会社名 東洋製罐グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 5901 URL <https://www.tskg-hd.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）中村 琢司
問合せ先責任者 （役職名）IR室長 （氏名）木本 要 TEL 03-4514-2019
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	240,137	4.5	15,081	12.0	16,865	2.3	16,517	45.9
2025年3月期第1四半期	229,867	△2.3	13,466	78.8	16,480	39.0	11,321	33.9

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 2,467百万円（△87.2％） 2025年3月期第1四半期 19,294百万円（36.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	105.99	—
2025年3月期第1四半期	65.23	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	1,176,988	677,039	55.2
2025年3月期	1,202,930	694,915	55.5

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 649,754百万円 2025年3月期 667,064百万円

（注）当第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	46.00	91.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	57.00	—	57.00	114.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	485,000	4.5	25,000	36.5	26,000	36.8	27,000	119.2	175.01
通期	960,000	4.1	45,000	31.3	48,000	27.6	46,000	104.6	298.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は2025年2月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、2025年6月30日現在における自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P. 9 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	163,162,162株	2025年3月期	163,162,162株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	8,880,902株	2025年3月期	4,062,929株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	155,842,950株	2025年3月期1Q	173,563,118株

(注) 当社は役員向け株式交付信託制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式 (479,800株) を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 4 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年6月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、景気は緩やかな回復基調が継続しました。一方、先行きは、不安定な国際情勢、物価の上昇や金融市場の変動などにより、不透明な状況にあります。

このような環境下におきまして、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減率
売上高	229,867	240,137	10,269	4.5%
営業利益	13,466	15,081	1,615	12.0%
売上高営業利益率	5.9%	6.3%	0.4%	—
経常利益	16,480	16,865	384	2.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,321	16,517	5,196	45.9%

売上高は、包装容器事業を中心に価格改定を実施したほか、マレーシアにおいてホームケア製品およびパーソナルケア製品の充填事業を営むPREMIER CENTRE GROUP SDN. BHD. を、2025年3月期中間期末から連結子会社に追加したことなどにより、2,401億37百万円（前年同期比4.5%増）となりました。利益面では、価格改定を実施したことなどにより、営業利益は150億81百万円（前年同期比12.0%増）となりました。経常利益は、為替差益が減少したものの、持分法投資利益が増加したことにより、168億65百万円（前年同期比2.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことなどにより、165億17百万円（前年同期比45.9%増）となりました。

各セグメントの営業の概況は次のとおりです。

(単位：百万円)

報告セグメント等	売上高（外部顧客）				営業利益			
	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減率	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減率
包装容器事業	153,608	156,891	3,282	2.1%	9,614	10,397	782	8.1%
エンジニアリング・ 充填・物流事業	34,952	39,069	4,116	11.8%	△251	518	770	—
鋼板関連事業	22,495	21,901	△593	△2.6%	2,879	1,522	△1,356	△47.1%
機能材料関連事業	12,181	13,877	1,696	13.9%	1,171	1,188	17	1.5%
不動産関連事業	2,010	2,057	46	2.3%	1,148	1,224	76	6.6%
その他	4,619	6,340	1,721	37.3%	76	481	404	529.8%
調整額	—	—	—	—	△1,171	△250	920	—
合計	229,867	240,137	10,269	4.5%	13,466	15,081	1,615	12.0%

〔包装容器事業〕

売上高は1,568億91百万円（前年同期比2.1%増）となり、営業利益は103億97百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

①金属製品の製造販売

国内においてアルコール飲料値上げ前の駆け込み需要の反動で、ビール向け空缶の販売数量が減少しましたが、国内・海外において価格改定を実施したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。

②プラスチック製品の製造販売

価格改定を実施したほか、ミネラルウォーター向けのペットボトルや洗濯用洗剤向けのボトルなどが増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

③紙製品の製造販売

飲料向けの段ボール製品が減少しましたが、価格改定を実施したほか、ファストフード向けなどの飲料コップが増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

④ガラス製品の製造販売

飲食店向けでジョッキなどのハウスウエア製品が減少しましたが、価格改定を実施したほか、清酒やインスタントコーヒー向けなどのびん製品が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

〔エンジニアリング・充填・物流事業〕

売上高は390億69百万円（前年同期比11.8%増）となり、営業利益は5億18百万円（前年同期は2億51百万円の営業損失）となりました。

①エンジニアリング事業

既存顧客において設備投資の抑制が継続しているものの、新規顧客への製缶・製蓋機械の販売が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

②充填事業

マレーシアにおいてホームケア製品およびパーソナルケア製品の充填事業を営むPREMIER CENTRE GROUP SDN. BHD. を、2025年3月期中間期末から連結子会社に追加したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

③物流事業

貨物自動車運送業および倉庫業などの売上高は、前年同期を下回りました。

〔鋼板関連事業〕

売上高は219億1百万円（前年同期比2.6%減）となり、営業利益は15億22百万円（前年同期比47.1%減）となりました。

電気・電子部品向けでは、民生用電池材の輸出が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

缶用材料では、食缶向けの輸出が増加しましたが、18リットル缶向けが減少し、売上高は前年同期並となりました。

自動車・産業機械部品向けでは、駆動系部品材が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

建築・家電向けでは、ユニットバス向け内装材が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

〔機能材料関連事業〕

売上高は138億77百万円（前年同期比13.9%増）となり、営業利益は11億88百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

磁気ディスク用アルミ基板では、データセンター向けのハードディスク用途で市況が回復したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

光学用機能フィルムでは、フラットパネルディスプレイの市況悪化の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

その他、ほうろう製品向けの釉薬が増加しました。

〔不動産関連事業〕

オフィスビルおよび商業施設等の賃貸につきましては、売上高は20億57百万円（前年同期比2.3%増）となり、営業利益は12億24百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

〔その他〕

自動車用プレス金型・機械器具・硬質合金および農業用資材製品などの製造販売、石油製品などの販売および損害保険代理業などにつきましては、売上高は63億40百万円（前年同期比37.3%増）となり、営業利益は4億81百万円（前年同期比529.8%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産、負債および純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1兆1,769億88百万円となりました。現金及び預金の減少などにより前連結会計年度末に比べ259億41百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、4,999億49百万円となりました。借入金の減少などにより前連結会計年度末に比べ80億65百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、6,770億39百万円となりました。円高影響による為替換算調整勘定の減少、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより前連結会計年度末に比べ178億76百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の55.5%から55.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	119,839	104,464
受取手形、売掛金及び契約資産	222,187	223,331
電子記録債権	29,311	32,368
商品及び製品	121,381	125,108
仕掛品	23,083	23,906
原材料及び貯蔵品	55,179	53,347
その他	26,134	25,819
貸倒引当金	△2,790	△2,855
流動資産合計	594,327	585,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	111,385	109,905
機械装置及び運搬具（純額）	128,963	129,170
土地	79,608	79,290
建設仮勘定	15,589	11,330
その他（純額）	15,943	15,592
有形固定資産合計	351,490	345,290
無形固定資産		
のれん	4,072	3,773
その他	24,163	22,008
無形固定資産合計	28,235	25,781
投資その他の資産		
投資有価証券	167,035	158,161
退職給付に係る資産	39,524	39,611
繰延税金資産	4,842	5,712
その他	20,962	20,233
貸倒引当金	△3,488	△3,293
投資その他の資産合計	228,876	220,424
固定資産合計	608,603	591,497
資産合計	1,202,930	1,176,988

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,973	111,028
短期借入金	75,872	67,132
未払法人税等	8,434	11,573
汚染負荷量賦課金引当金	99	97
その他	88,091	86,374
流動負債合計	282,472	276,205
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	130,420	129,508
繰延税金負債	19,003	17,938
特別修繕引当金	6,997	7,298
汚染負荷量賦課金引当金	1,647	1,630
役員退職慰労引当金	1,117	1,142
役員株式給付引当金	324	351
退職給付に係る負債	34,443	34,960
その他	11,587	10,912
固定負債合計	225,542	223,744
負債合計	508,015	499,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,094	11,094
資本剰余金	11,915	11,915
利益剰余金	516,892	526,063
自己株式	△9,351	△21,955
株主資本合計	530,551	527,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,650	60,201
繰延ヘッジ損益	40	27
為替換算調整勘定	49,804	40,837
退職給付に係る調整累計額	22,016	21,569
その他の包括利益累計額合計	136,513	122,635
非支配株主持分	27,851	27,284
純資産合計	694,915	677,039
負債純資産合計	1,202,930	1,176,988

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
売上高	229,867	240,137
売上原価	194,773	203,062
売上総利益	35,094	37,075
販売費及び一般管理費	21,627	21,993
営業利益	13,466	15,081
営業外収益		
受取利息	336	299
受取配当金	985	1,026
為替差益	2,816	15
持分法による投資利益	48	1,099
その他	945	1,477
営業外収益合計	5,133	3,918
営業外費用		
支払利息	973	833
固定資産除却損	129	433
その他	1,016	868
営業外費用合計	2,118	2,135
経常利益	16,480	16,865
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,768
固定資産売却益	—	2,345
特別利益合計	—	8,113
税金等調整前四半期純利益	16,480	24,978
法人税等	4,625	7,867
四半期純利益	11,855	17,111
非支配株主に帰属する四半期純利益	534	593
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,321	16,517

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	11,855	17,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,554	△4,428
繰延ヘッジ損益	494	△13
為替換算調整勘定	2,624	△7,153
退職給付に係る調整額	△107	△449
持分法適用会社に対する持分相当額	1,873	△2,599
その他の包括利益合計	7,439	△14,644
四半期包括利益	19,294	2,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,508	2,640
非支配株主に係る四半期包括利益	786	△173

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月28日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所における市場買付により当社普通株式4,909,300株を取得したことにより、自己株式が12,823百万円増加している。また、2024年11月29日開催の取締役会決議に基づき、従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとして91,560株の自己株式の処分を行ったことにより、自己株式が220百万円減少している。この結果、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式が21,955百万円となっている。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりである。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	13,548百万円	13,385百万円
のれんの償却額	—	103

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な処理の確定)

2024年8月2日（みなし取得日2024年6月30日）に行われたPREMIER CENTRE GROUP SDN. BHD. との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていたが、当第1四半期連結会計期間に確定している。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されている。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額7,956百万円は、会計処理の確定により3,824百万円減少し、4,131百万円となっている。のれんの減少は、無形固定資産のその他（顧客関連資産等）が3,986百万円、土地が1,045百万円、繰延税金負債が1,207百万円それぞれ増加したことによるものである。

また、前連結会計年度末の連結貸借対照表は、のれんが3,769百万円減少し、無形固定資産のその他（顧客関連資産等）が4,000百万円、土地が1,084百万円、繰延税金負債が1,220百万円、利益剰余金が91百万円、為替換算調整勘定が3百万円それぞれ増加している。

のれんの償却期間は10年、無形固定資産のその他（顧客関連資産等）の償却期間は10年から17年としている。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 事業	エンジニア リング・ 充填・物流 事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	153,608	34,952	22,495	12,181	2,010	225,248	4,619	229,867	—	229,867
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,552	12,261	5,821	15	346	19,995	1,795	21,791	△21,791	—
計	155,161	47,213	28,316	12,196	2,356	245,244	6,414	251,658	△21,791	229,867
セグメント利益又は損失 (△)	9,614	△251	2,879	1,171	1,148	14,561	76	14,638	△1,171	13,466

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,171百万円には、セグメント間取引消去3,012百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,183百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 事業	エンジニア リング・ 充填・物流 事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	156,891	39,069	21,901	13,877	2,057	233,796	6,340	240,137	—	240,137
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,408	12,488	5,947	16	393	20,254	1,791	22,046	△22,046	—
計	158,299	51,558	27,848	13,893	2,451	254,050	8,132	262,183	△22,046	240,137
セグメント利益	10,397	518	1,522	1,188	1,224	14,851	481	15,332	△250	15,081

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△250百万円には、セグメント間取引消去3,908百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,159百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。